



教育センターだより

編集・発行
君津市教育センター
君津市久保2-13-1
TEL(56)1451

第187号

きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム

海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を受け、昨年度からスタートした本プログラムは、今年度は市内小学校5校、中学校2校で実施しました。

今年度新たに加わった小糸小学校では、海の恵みである海水からとったにがりと塩、陸の恵みである小糸在来大豆から、豆腐作りにチャレンジしました。大豆は種から育てたものです。学校の先生方が、火にかける時間や、材料の配分などの研究を重ね、調理実習でも豆腐が固まった時は感動的でした。

各校の特色ある活動の一部は、君津市教育センターHP（右QR）でも紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



副読本「きみつ学」がいよいよ完成！

さらに、助成金を活用し、君津市の地域・環境・SDGsをテーマとして作成した副読本「きみつ学～つながる山・川・海・人 探究百科～」がこの3月末に完成します。4月から海洋教育実施校を優先して、順次各校に配付予定です。ぜひ総合的な学習の時間や、教科横断的な学びで活用していただけたらと思います。目次は次のようになっております。

目次

序章 きみつから世界へ

君津市教育センターメッセージ／君津市民の歌	4
きみベディア『きみつ学』の使い方／SDGsについて	5
空から見た君津の山・川・海・まち	6

第1章 きみつが歩んだ歴史 7

君津の大地の成り立ち	8
太古の君津にいた生き物たち	10
君津で見られる地層	12
君津市、千葉県の縄文時代ってどんな様子？	14
君津でも稲作が始まった弥生時代	16
巨大なお墓ができた古墳時代	17
奈良時代～平安時代	18
鎌倉時代～戦国時代	19
江戸時代	20
明治・大正・昭和前期	22
君津の工業化（昭和時代後期～）	24



第2章 豊かな山 25



君津の森の昔と今	26
森の分布と役割	28
君津の山	30
君津の山に伝わる伝説・民話・歴史	32
君津の山にいる生き物	34
君津が誇る木材活用①	36
君津が誇る木材活用②	38
林業の今・里山保全	40
君津の山でつながる命	42
東京大学千葉演習林	44
森林に関わる小学校の取り組み	46
わたしたちにできるSDGs 山編	48

第3章 川のはたらき 49

川の生き物の昔と今	50
川の生き物調査	52
川を活かした人々の営み	54
ダムや堰の役割	56
小学校の取り組みと豊かな川	58
わたしたちにできるSDGs 川編	60



第4章 まち・里に生きるわたしたち 61



君津の米作りと用水	62
地下水と上総掘り	64
上総掘りから生まれた地下からの恵み ～酒・養殖・温泉・天然ガス～	66
君津市の農業の課題	68
里山の生き物・フードロス	70
地域行事 ～農業編～	72
農作物を使った特色ある学校の取り組み	74
わたしたちにできるSDGs まち編	76

第5章 わたしたちの海 77

海の昔と今の変化	78
東京湾の干潟を利用した漁業	80
海の活動いろいろ	82
鯨洲干潟の生き物	84
水産資源の今	90
ブルーカーボン	92
君津の海での取り組み	94
県外での取り組み	95
海洋プラスチック	96
持続可能な豊かな海へ	98
海に関わる仕事や進路	100
世界とのつながりで地球環境を守る	102
新しいアイデアで未来へチャレンジ	104



学びのヒント 106

職員向け『きみベディア』活用アイデア 108

※QRコードは株式会社サンソーウェブの登録商標です。

算数・数学の授業力の向上に向けて

今年度も日々の授業改善への一助として、学力向上推進委員会で算数・数学の授業公開を行いました。2回実施した公開の内容を基に、授業改善に役立つポイントをお伝えします。

<単元名：分数（木村 青葉 先生 周西の丘小学校 第3学年）>

授業づくりで意識した点 → ドリルパークの活用

1 前時までの内容の確認時にドリルパークを活用し、考え方のウォーミングアップを図る

前時までの確認・復習としてドリルパークを活用します。単位分数のいくつかをおさえさせることで、本時での自力解決の際の考え方の一助となるよう、ウォーミングアップとして活用します。

今回は、前時までの復習と、本時の考え方でも扱う単位分数について意識をさせる問題を、事前に配信しておき、実施をしました。



2 オクリンクを自力解決・比較検討の際に活用し、考え方の共有を図る

オクリンクを自力解決や比較検討の際に活用し、個々の考えを交流できるようにします。クラス全員の考えが一目でわかるようオクリンクを視覚的な面からの補助として活用することで、個々の考え方の共有が図れるようにしました。



3 ドリルパークを習熟時に活用し、理解の定着を図る

分数の引き算の考え方や解き方を理解したら、ドリルパークを活用し習熟を図ります。理解の定着には繰り返し練習は必須です。そこで、AI機能が搭載された「ドリルパーク」を効果的に活用し、分数の引き算について確実に定着が図れるようにしました。

<単元名：単位量あたりの大きさ（荒井 悠 先生 周南小学校 第5学年）>

授業づくりで意識した点 → 主体的・対話的で深い学びの実現

本単元では、以下の2点を意識し指導にあたりました。

- ① 児童が主体的に学び、粘り強く課題解決に取り組めるようにする。
- ② 算数科の学習における見方・考え方を広げ、基礎基本を確実に定着させる。

上記2点の達成のため、各学習過程で次の点を意識し指導に当たりました。

	目 的	手 立 て
導入時	・課題意識を持たせる ・問題場面の確実な把握	・学習問題を自分の言葉で書く ・素材提示の工夫（挿絵、表、色分け、目隠し）
自力解決	・解決の見通しと意欲を持たせる ・課題を焦点化する	・直感や見た目による予想 ・授業構成（活動と形態）の工夫 ・相談・観察に自由度のある協働的な学習スタイルでの自力解決 ・TT指導による個別支援
比較検討	・本時のねらいに迫る為、共通点や差異点を比較する ・本時のまとめにつながるキーワードを導き出す	・板書の工夫 ◇児童の発表を教師がポイントをおさえて板書する ◇思考の流れが整理され、比較検討のしやすいレイアウト ・「単位量あたりの考え」をつかませるための教具の工夫（数直線）
まとめ	・本時の学習内容の確実な定着	・まとめを自分の言葉で書く ・習熟の時間の位置づけ

ミライシード「オクリンクプラス」について

1人1台端末で意見共有機能として、これまで活用していた「オクリンク」と「ムーブノート」の特徴や価値を統合し、共同編集などの新しい価値が付加されたアプリケーションが「オクリンクプラス」です。君津市では2学期からプレ版を導入し、令和7年4月から正式版を利用いただけます。現在利用いただいている機能はそのままに、より「サクサク」動く使いやすさを実現したアプリケーションになります。

個別学習・協働学習・振り返りをより充実させ、児童生徒の主体的な学びの促進を目指し、各学校でぜひご活用ください。詳しくは、「ミライシードファンサイト」をご覧ください。 ファンサイトQRコード⇒



特別支援教育 次年度に向け、確実な引継ぎをお願いします！！

・君津市特別支援教育のキーワード 「困った子」ではなく、「困っている子」

(き) 子どもの困り感に気づき (み) 頑張りを認め (つ) 支援を繋ぐ 校内支援体制づくり

年々、君津市教育支援委員会に諮り、特別支援学級への転籍を検討する児童生徒が増えています。毎年、**就学相談の申込は6月**です。次年度、就学相談に係る可能性の高い児童生徒については、**信頼関係のある現担任が今年度のうちに、保護者の意向を聞いて少しずつ進めておいていただける**ようお願いします。

就学相談年間カレンダー

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	確定な引き継ぎ 次年度、就学相談における予定の児童生徒の保護者と面談を実施し、保護者の意向を確認	校内支援委員会 就学相談にかける児童生徒の決定	報告書を学校教育課へ	書類記入	専門調査員による面談	(教育支援委員会)	意志確認 次年度に向けて	校内支援委員会 次年度、就学相談における児童生徒の検討	確定な引き継ぎ 次年度、就学相談における予定の児童生徒の保護者と面談を実施し、保護者の意向を確認					

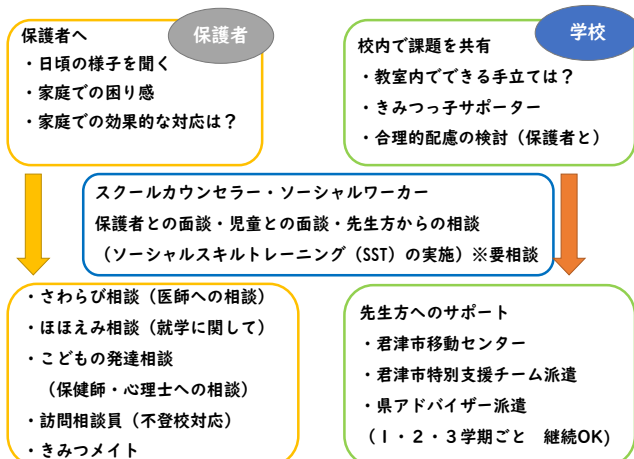
あわせて、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と、確実な引継ぎをお願いします。二つの計画の扱いは以下のとおりです。

- ・本人や保護者の同意を得て、進学先や進級後の担当者等に二つの計画を使用した丁寧な説明を個別に行う。
- ・転学や卒業等で学校が変更になる際には、原本を保護者へ渡し、学校は写しを保管する。

【日頃の指導でお困りのことはありませんか？】

読み・書きが難しい、こだわりが強い、集団に合わせることが難しいなど、児童生徒の困難さは多岐にわたります。担任一人で抱え込むことなくチームで取り組み、外部機関も活用していきましょう。

校内でできること → 外部機関へ



【資料】

○国立特別支援教育総合研究所

- ・「発達障害がある子供の指導・支援のヒント」
発達障害の理解
教材教具の紹介
研修動画 など



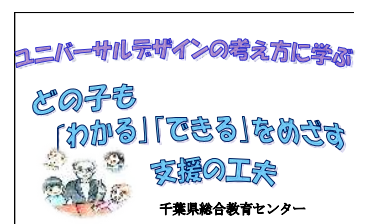
・「インクルDB（実践事例データベース）」

合理的配慮の実践事例について、障がい種や学年ごとに、事例を見ることができる。



○千葉県総合教育センター

HPよりダウンロードできます。



君津市中学校合同生徒会全体研修会オンライン開催[令和6年12月13日(金)]

第16期共通取組 「OMOIAI運動」「SDGs活動」に決定!

令和6年12月13日(金)に市内7中学校の生徒会役員代表がオンラインにて集まり、君津市中学校合同生徒会全体研修会を開催しました。オンライン開催とは思えないくらいの、活発な意見交換が行われ、たいへんやる気に満ちあふれた言葉や姿が、画面越しでも伝わってきました。

また、感想からは君津市をよくしていくために、学校でしっかり取り組んでいきたいことや、令和7年8月19日(火)に行われる全体協議会に向けての意気込みが書かれていました。

SDGs活動実践報告・・・周西南中学校と周西中学校の2校が「きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム」の一環として本市の海洋教育のテーマである、山・川・海のつながりについて学習した内容を報告しました。

2校の報告から、他校の生徒が、ブルーカーボンについて興味を持ったり、君津市の海で行われていることを知る機会となり、共通取組であるSDGs活動を深めていく参考となる素晴らしい報告会となりました。

意見交換会・・・共通取組について具体的な取組を話し合いました。オンラインでの話し合いで、進行為が難しいなか、活発な意見交換となりました。第16期は、「OMOIAI運動」「SDGs活動」の2本の柱で取り組み、具体的な内容も以下のように決まりました。

OMOIAI運動

「Thanks week」「ありがとうの木」

◎感謝を伝える取組

◎すべての人が平等になる取組

SDGs活動

◎フードロスに関する取組

◎ごみを減らす取組

※4つの重点項目を中心に各学校の実態に合わせた取組を行っていきます。



令和6年度エコキャップ回収

今年度も2回のエコキャップ回収のご協力ありがとうございました。第1回は、298.50kg(128355個)、第2回では個数の集計はありませんでしたが、ごみ袋127袋分集めることができました。来年度から回収方法は変わりますが、引き続き取組をお願いします。また、エコキャップ回収以外にも各学校で様々なSDGs活動に取り組んでいます。学校での会議にiPadを活用し、ペーパーレスは当たり前になってきています。

君津市独自のプログラミング教育

市独自の取組として、令和4年度から科学工夫工作・論文展の中でプログラミングの部をスタートしました。「SDGs」および「君津市」を出品条件とした作品は、年々レベルが上がり、来場者からも高い評価を得ています。教育センターHPから、いつでも実際に作品を動かすことができますので、ぜひご覧ください。

さらに、市で特選に選ばれた作品のうち以下の4名が、全国選抜小学生プログラミング大会の千葉県大会において、見事努力賞に入選しました。おめでとうございます。

- ・寺澤晃二さん(周西小6年)「小糸川 ほたるの故郷」
- ・大澤理生さん(周西小4年)「アサリで海をきれいにしよう!」
- ・塚越壮真さん(周西小4年)「きみぴよんのリサイクル大作戦!」
- ・棟方 旭さん(周西小2年)「ふたばちゃんと森をそだてよう」

また、君津市では、全小中学校向けに、iPadで操作できるプログラミングロボット「Roost」を80台配備し、全小中学校向けに貸し出しをして、プログラミング能力の底上げを図っています。

教育センターHP



千葉県大会

